

## 行政視察報告

( 会派 わきみず )

### <視察目的>

国指定史跡を生かした町づくりについて

山中鹿介ゆかりの地が歴史を生かした町づくりについて

### <視察概要一覧>

視察月日	視察先	視察施設	視察内容
平成 30 年 6 月 25 日	鳥取県八頭郡若桜町	若桜鬼が城跡	史跡の維持管理等について
同上	兵庫県伊丹市	伊丹市鴻池地区 山中新六菩提寺他	歴史を生かした町づくりについて

### <視察概要報告>

#### ●概要:

《説明概要》

- 1、国指定史跡若桜町若桜鬼が城跡の維持管理と平成 14 年に開催された、第 9 回全国山城サミットの町の動向について
- 2、山中鹿介の息子山中新六のゆかりの地、伊丹市鴻池地区の町づくりについて

#### ●質疑

- 1- (1) 鳥取県若桜町若桜鬼ヶ城跡 H30.6. 25 (月) 9 時～10 時 20 分  
対応者＝若桜町議会事務局書記＝伊賀 忍様  
説明者＝町教育委員会＝津川尚貴主任 町観光協会＝盛本貴之次長、加島裕子主事  
ガイド＝若桜郷土文化の里管理人＝門村正行管理人
- (2) 鬼が城の維持管理について
  - \* 定期的な指定地内の見回り、特に山頂部と登山道を重点に実施。
  - \* 史跡平坦部の下草刈り払い、GW前・梅雨時期・夏季等下草が伸びる時期に実施。
  - \* 自動車ルートの手掃及び側溝の掃除、融雪後に実施。

### (3) 予算措置について

\*上記日常の維持管理費を計上（シルバー人材センター手数料）20～30万円／年

\*文化財管理全体管理費として不特定予算を計上。

\*看板の設置や修繕、枯損木伐採等、日常管理以外に必要な経費は、その都度予算措置。

### (4) 鬼ヶ跡関連のイベントについて

\*昨年まで地元住民が中心に、鬼ヶ城跡登山道をゆったり走ったり歩いたり歩くイベント「若桜鬼ヶ城遊歩走大会」を開催。鬼ヶ城跡を含めた中心街

のノルデックコースのつ設定や、健康づくりを目的としたウォーキングコースを検討中

### (5) その他観光宣伝について

\*「続日本100名城」選定受け、城郭PRを検討中。観光パンフに散策マップを掲載

### (6) 山城サミット開催後の町の動きについて

\*H14年＝中世城館分布調査・H16年＝鳥取県による保存に関する検討委員会が設置され若桜鬼ヶ城跡を国指定候補に選定される。H20年＝若桜鬼ヶ城跡が国史跡に指定。H23年＝若桜鬼ヶ城跡保存管理計画を策定。H29年＝続・日本100名城に認定される。

\*以上の経過により、今後も、国、県等関係部署と連携し、保存活用を図るとのこと。

## <考 察>

事前に連絡して質問に対して、親切・丁寧な説明をしていただきました。とりわけ、登山道はマイクロバスが入らず若桜町の議会事務局の車の手配により頂上まで登れたことに対して、感謝を申し上げます。若桜鬼ヶ城跡は交通アクセスには難点があるが、関西方面からの日帰りには、鳥取砂丘とセット良好な地と判断しました。中世の歴史ロマンが垣間見える地で、一国一城令により立派なお城を廃城された無念さを感じました。



町としての予算を確保され、史跡の清掃や除草は徹底されており、来場者に対するおもてなしの心を感じました。案内して頂いたガイドさんにも感謝し、対応していただいた皆様方に感謝を申し上げます。尚、入口には熊に注意の看板があり、登山者が襲われたとのこと、安来市のみならず全国的に出没しており注意が必要です。

2- (1) 兵庫県伊丹市鴻池地区 H30.6. 25 (月) 14時～16時30分

対応者・懇談会出席者＝伊丹市議会事務局  
総務課長（米谷智様）伊丹市総合政策部戦  
略課参与（上地秀治様）伊丹市自治会長会  
長（杉本行廣様他商工会代表・酒造会社等々）  
＊慈眼寺＝山中鹿介の長男山中新六幸元の  
お墓参り（郷土史研究者＝荒西完治様案内）  
＊鴻池稻荷詩碑見学＝酒造業で財をなした  
鴻池家の屋敷跡に建立・始祖は幸元である。  
＊懇談会＝観光物産協会・エフエムいた  
み・新聞社（2社）を含め40分懇談した。



### < 考 察 >

武士の身分を捨てた新六幸元は苦心して清酒の醸造に成功した。屋号を鴻池屋とし、以後江戸に海運で酒を送り、後の鴻池家繁栄の基礎をつくった。転身の妙である。-  
伊丹市は、清酒発祥の地を生かし、町おこしを進めている。鹿介の長男「新六幸元」ゆかりの地、現地での視察・説明を受けた。NHK大河ドラマ放映への協力も確認した。9月の山城サミット・尼子一族大集会に来市し交流を深めたいとのこと、歓迎したい。

